

宮崎県知事

東国原

HIGASHIKOKUBARU
Hideo

英夫さんに伺いました

聞き手

岡 由剛
編集委員

[writer] 駒崎文男

観光だけでなく、生活、産業、救急医療、災害対策を含めて、
交通インフラ整備の必要性を、全国に発信しているところです。

2008年1月31日（木）

宮崎県庁知事室

地域固有の土木施設を観光資源に

——今回の特集では、土木が観光振興に寄与
できることのひとつとして、ダムや橋梁など既
存の土木施設にひと工夫を加えて、観光資源
として活用している事例を紹介します。宮崎
県ではそうした事例はありますか。

東国原——「日本風景街道（シーニック・バイ
ウェイ・ジャパン）」の「九州風景街道」で、「日
南海岸きらめきライン」が登録されています。
日南海岸沿いを走る国道220号は、いい観光
資源になると思っています。また、県北の高千
穂町と高千穂峰の麓の高原町を結ぶ新しい広
域観光ルートで、ひむかの神話や伝説の地を
結ぶ「ひむか神話街道」もアピールしていき
たいと思っています。しかし、そこは部分的には

大型バスなどが通れませんが、道路の整備は
していく必要があります。それから、青島と県
総合運動公園を結ぶ遊歩道「トロピカルロ
ド」は、国際青島太平洋マラソンなどに利用さ
せていただいています。正面に青島海岸が広
がり、散歩やサイクリングのスポットになると
感じています。

ほかにも、日南市には風情のある堀川運河
があります。第二期工事が終わり、第三期まで
工事が予定されていますが、船などを浮かべる
と趣きのある観光スポットになると考えてい
ます。宮崎県の北部に位置し、山々や深い溪谷
が大自然の美を織り成す日之影町では長大橋
があることから「三大アーチ橋のある町」とい
うキーワードで、観光振興を進めています。

さらに、いま私が興味をもっているのは、リニ
アモーターカーの実験線施設の利用です。高架
の鉄道になっており、あの上を散歩したり、走っ
たりするのは無理かもしれませんが、あそこ

から海岸の風景が見えるので、どうにかでき
ないかと思っています。

社会基盤の整備なくして 生活はない

——県北部と県南部を結ぶ交通網は、充実し
ているとはいえない状況にあります。県外観
光客の受けた宮崎の悪い印象として「交通の
便が悪い」というアンケート結果もあります。
この対策としてどのような施策を検討されて
いますか。

東国原——来られた方はわかるのですが、宮
崎は交通インフラに関しては不十分です。観光
関連の会社の方に意見を聞いても、交通の便
が悪いから、2泊3日や1泊2日の予定が組め
ないというのです。もし、国道や県道が通行止
めとなったり、事故で渋滞が起これると、飛行機
に間に合わないということもあります。観光



東国原 英夫(ひがしこくばる・ひでお)さん プロフィール

1957年生まれ50歳。専修大学経済学部、早稲田大学第二文学部卒業、早稲田大学政治経済学部退学。2007年1月23日第52代宮崎県知事就任。

だけでなく、生活、産業、救急医療、災害対策を含めて、本当に不便です。そういった意味でも、交通インフラの整備は必要で、だからこそ、私は全国でそうした声を発信させていただいているのです。

——「土木」は社会資本を整備するという重要な役割を担っているにもかかわらず、イメージは「談合」や「3K」など、ネガティブなもの世の中では一般的です。県知事に就任されて、「土木」に対するイメージは変わりましたか。

東国原——政治に一番密接に関係しているのが土木だと感じました。社会基盤の整備なく

して、生活はありません。土建国家、土木国家と揶揄されたりしますが、やはり人は、野原や山の中では生活はできません。人が生活するために、道路や橋、港湾、下水道といったものの充実が欠かせません。行政に入って、一番頭を悩ませている課題や問題も、実はそこにあるのです。

最低限のインフラは整備していただきたい

——「土木」や「土木学会」に対して、宮崎県知

事として期待することはありますか。

東国原——宮崎県は「高速の空白地帯」、「陸の孤島」とも言われています。宮崎県はまさにインフラ弱者ならぬインフラ弱県で、産業の自由な競争をしろというのであれば、最低限それができるくらいの平等なインフラは整備していただきたいし、土木学会のこうした誌面を通じて、国に声高に呼びかけていただければと思います。

道路整備は、いろいろな角度から政府や関係各位の方々にご理解いただかないと進みません。贅沢は言っていないつもりです。全国平均くらいにしてほしいということ、ぜひ太文字かなんかで書いていただければありがたいですね。

それから、私はいつも思うのですが、公共事業が悪いというイメージは、つくりつばなしで、残骸みたいなものがあるので、それが何か無駄だという印象を受けていると思うのです。ですから、ぜひつくるときは、もし駄目になったとき、あるいは不利用になったときに、どういった再利用の仕方があるのか。そういったところまで考えてつくっていただくと、無駄な公共事業というようないふ批判はだいぶ緩和されるのではないのでしょうか。公共事業の批判は国だけでなく、自治体にも向けられます。ぜひ、そのところは考えていただければと願っています。